

ブロンテ姉妹と植物

菟原 美和

はじめに

ブロンテ姉妹と言えば、「ヘザー」(heather) や、ヘザーで覆われた荒野「ムア」(moor)、赤紫の花をつける灌木やそれが生い茂る荒野を指す「ヒース」(heath) といった言葉と結びつけられることが多い。これらの語は、シャーロット・ブロンテ (Charlotte Brontë, 1816-55) やアン・ブロンテ (Anne Brontë, 1820-49) の小説にもある程度見られる。しかし、何といたってもエミリー・ブロンテ (Emily Brontë, 1818-48) の小説『嵐が丘』(Wuthering Heights, 1847) では、その名も「ヒースクリフ」(Heathcliff) という主人公の物語がヘザーの生い茂る荒野を中心に繰り広げられる。物語は、旅人のロックウッド (Lockwood) が荒野を歩いてヒースクリフの屋敷「ワザリング・ハイツ」(Wuthering Heights) を訪ねるところから始まり、最後はヒースやヘアベル (harebell) の生い茂るムアで、ヒースクリフの墓が、キャサリン・リントン (Catherine Linton) とエドガー・リントン (Edgar Linton) の墓と並んでいるのを見つける場面で終るのが印象的である。さらに、ブロンテ姉妹が人生の大半を過ごしたハワース (Haworth) で暮らした牧師館の裏手には、秋になるとヘザーの花で赤紫色に染まる荒野が広がっており、ブロンテと言えば、「ヒース」や「ヘザー」を連想する人は多い。

しかしながら、ブロンテ姉妹の小説にはヘザー以外にも、様々な植物が登場する。それらの花や木は、ヘザーほどには注目されてこなかったけれど、時には小説の中で象徴的で重要な意味を持っているように思われる。そのような中で、本稿はブロンテ姉妹の小説に見られる植物の種類について詳細に調査をした結果をまとめるとともに、ブロンテ姉妹がその小説において使った植物にどのような傾向があるかを概観することを目的としている。

1. ブロンテ姉妹の小説に登場する植物の種類

ブロンテ姉妹の小説には多くの植物が登場する。それらの植物を詳しく分析するために、小説で言及されている植物名を抽出し、一覧表にまとめた。その一覧表を本稿の最後

に資料として記載する。¹なお、その表の作成は、以下の方針に基づいて行った。

- ①「花」(flower)や「木」(tree)、「草」(grass)、「芝生」(lawn)、「芝草」(turf)、蔓性植物(creeper)など、広範囲にわたる植物の総称の形で登場しているものは対象外とする。「ムア」は、植物そのものを指す語ではないが、「ヘザー」が育つ荒野のことであるので、一覧表に含める。
- ②果物やナッツは、食べ物として登場するものは原則として含めない。「櫛の階段」、「榆のベッド」、「柳のかご」、「月桂冠」など、物の材料として登場する植物も含めない。植物そのものが登場するわけではなく、植物が比喩として使われている場合や、植物が服などのデザインとして登場するもの、聖書など他の作品からの引用中に出てくるものについては、一覧表に含める。植物名に由来する色の名前も一覧表に含めるが、これについては備考欄に色名であることを追記する。
- ③ひとつの章またはひとつの詩で同じ植物名に複数回言及される例は数多くあるが、同じ場面内で同一の花や木を指している場合は、章内での初出のみを拾う。同じ種類の別々の花や木を指している場合や、別の人や物を修飾する形容詞的に使われている場合、同一の植物であるが異なる場面で登場する場合については、同じ植物名を特定の章内に出てくる植物として複数回記載する。
- ④小説内では複数形で表記されている植物名も、一覧表では単数形で記載する。植物が形容詞形で登場する場合や、ハイフンでつながれるなどした複合語の一部になっている場合は、備考欄に実際に小説内で使われている語全体を追記する。テキストではフランス語で書かれている植物については、備考欄にテキストに出てくるフランス語を記載する。植物が人名や地名、建物名などの固有名詞や固有名詞の一部として使われているものについては、作品中で複数回同じ語への言及があっても、初出のみを記載する。また、作品中に出てくる固有名詞そのものは備考欄に記載する。

資料としてまとめた一覧表を見ると、筆者自身がそうであったように、一般的な読者であれば、特に意識しないでブロンテ姉妹の小説を読んでいた時に感じた以上に、ブロンテ姉妹の小説にかなり多くの植物が登場することに気づくであろう。確かに言及される回数が多いのは、「ヒース」や「ムア」であるが、姉妹の小説には、それ以外にも実に多様な植物が登場するのである。

2. ブロンテ姉妹が小説で用いている植物の特徴

上述のように、ブロンテ姉妹の小説には実に多くの植物が登場するが、特にシャーロットの小説では、言及される植物の種類も回数も、かなり多い。また、登場人物の容姿の描写が詳細であるのは、シャーロットの小説の特徴のひとつであるが、その際、目や髪、肌、頬、唇などの色が、「茶色」や「ピンク」といった直接的な色名ではなく、「バラ色」(rose または rosy) とか、「ハシバミ色」(hazel)、「オリーブ色」(olive) など、植物に由来する色名を使って頻繁に表現されている。また、美人を「バラ」(rose) または「ユリ」(lily) と表現するといった明快なものも含め、植物を比喩的に使っている例も目立つ。特に著者自身の自伝的要素が強く、ヒロインが不器量な女性である小説において、登場人物の容姿に関する描写が多いのであるが、ここでは美しい女性の容姿の形容に「バラ」や「ユリ」が繰り返し使われている。

『ジェイン・エア』(*Jane Eyre*, 1847) では、フェアファックス夫人 (Mrs. Fairfax) がしてくれたブランシュ・イングラム (Blanche Ingram) の説明をもとに、その外見を想像してジェイン (Jane) が絵を描くとき、ブランシュの肖像に添えられるのは、「黄金のバラ」(golden rose) である (170; vol. 2, ch. 1)。ロチェスター (Rochester) の屋敷に招かれてやってきた美しいエイミー・エシュトン (Amy Eshton) とルイザ・エシュトン (Louisa Eshton) の姉妹は、「ユリのように白い」(fair as lilies) と描写され、ブランシュの母親は、娘のことを「ユリの花」(lily-flower) と呼ぶ (180, 187; vol. 2, ch. 2)。セント・ジョン (St. John) は、ジェインが描いたロザモンド・オリバー (Rosamond Oliver) の肖像を見て、彼女の顔立ちを「バラとユリの色合い」(pure hue of rose and lily) だと表現し (382; vol. 3, ch.5)、「この世のバラ」(Rose of the World) を意味するそのファースト・ネームは、ロザモンドの美しさをよく表していると言う (396; vol. 3, ch. 6)。一方で、主人公のジェインは、自身が「バラ色の頬」(rosy cheeks) を持ち合わせた美人でないことを悔やみ、質素な服しか持っていないが、こざれいな身なりをして外見をできるだけよくするように心がけている (103; vol.1, ch. 11)。恋をしているロチェスターには、決して美人ではないジェインが美しく見える。求婚から結婚式までの期間に、ロチェスターはジェインのことを「バラ色の唇」(rosy lips) を持っていると言え、ジェインに先祖代々の宝である宝石を贈り、サテンとレースを装わせ、髪には「バラ」を挿そうと言う。ジェインは自分にはそれは不自然でおかしいと感じ、自分をまるで美女であるかのように扱わないで欲しいと主張する (272-74; vol. 2, ch. 9)。しかし、ロチェスターは、花嫁衣裳を身に着けた姿を見た際にも、ジェインのことを「ユリ」のように美しいと述べるのである (300; vol. 2, ch. 11)。その後行われた結婚式では、ロチェスターが重婚の罪を犯そうと

していたことがわかると、ジェインはロチェスターのもとを去ってしまう。

エミリ・ブロンテの小説では、出てくる植物の種類はそれほど多くないが、同じ植物が繰り返し出てくる。特に「ムア」と「ヒース」への言及が多いが、言及される回数はそれほど多くないものの、重要な意味を持っていると思われるものには「モミの木」がある。

物語の冒頭で、1801年にヒースクリフの屋敷であるワザリング・ハイツを訪れた語り手のロックウッド (Lockwood) によって、この屋敷の説明がされる。その際、玄関には「1500年」という年号と「ヘアトン・アンショー」(Hareton Earnshaw) という名前が刻まれていたこととともに、その家の端には数本のいじけた「モミの木」(firs) と「イバラ」(thorns) があったことが申し添えられる (2; vol. 1. ch. 1)。その後、この同じモミの木に複数回言及があるのであるが、特に読者に強い印象を残すキャサリン・リントンの幽霊をロックウッドが目撃する場面では、風が吹くたびに「モミの木」(a fir-tree) の枝が窓にあたっとうるさいので、ロックウッドがその枝をつかもうとする。すると、それが木の枝ではなく、人の手の指であるとわかり、中に入れて欲しいと泣くその冷たい指の持ち主は、自分はキャサリン・リントンであると名乗るのである (20; vol.1, ch. 3)。物語の最終章では、その時点の語り手であるネリー (Nelly) が、自分がワザリング・ハイツの「モミの木」(fir trees) の陰で仕事をしていたとき、小振りの2本の「リンゴの木」(apple trees) が花盛りであったと言う (290; vol. 2. ch. 20)。後述のフレデリック・ショーベル (Frederic Shorberl) が、モミの木の花言葉を「長生き」(longevity) としているように、² 高台にあるワザリング・ハイツの端にあつて、その屋敷の名前が示すように嵐が来ると吹きさらしになるが、強い風のために傾きながらも生きながらえてきたそのモミの木は、ワザリング・ハイツの300年にわたる長い歴史の象徴である。一緒に描かれる植物が、イバラからリンゴの木に変わったことは、突然やってきたヒースクリフに乗っ取られた屋敷が、最終的には、その屋敷の初代の持ち主の血を引くヘアトン (Hareton) とキャサリン・リントンの娘であるキャシー (Cathy) のものとなり、ワザリング・ハイツにしばらく続いた穏やかではない日々が終わったことを象徴的に表しているように思われる。

アン・ブロンテの小説においては、『アグネス・グレイ』(Agnes Grey, 1847) の第13章では、章のタイトルにも「サクラソウ」(primrose) が使われている。言及される植物の数はそれほど多くないのであるが、花はアンの小説の中で重要な役割を果たしている。これについて、詳しくは後述する。

3. ブロンテ姉妹と植物

ジョン・ストアーズ・スミス (John Stores Smith) によれば、ブロンテ姉妹が暮ら

した牧師館の庭は、イギリスで一般的な植物や灌木がたくさんあったが、注意して世話をしているような形跡はなかった。³ サクラソウを摘もうとする手が届かないでいたアグネス (Agnes) をウェストン氏 (Mr. Weston) が手助けする上述の『アグネス・グレイ』の13章の場面で、花が好きかと尋ねられたアグネスは、特に「野生の花」(wild-flowers)、例えば、「サクラソウ」(primroses)、「ブルーベル」(blue-bells)、そして「ヒース」(heath-blossoms) が好きだと答える。おそらくブロンテ姉妹自身も、庭で育てる花よりも野生の花が好きだったのであろう。これらの花はいずれも、シャーロット、エミリー、アンのそれぞれの小説に登場する。

ブロンテ姉妹が描いた絵のうち、シャーロットの絵画は約170点残っており、その中に丁寧に描かれた花の絵も一定数ある。⁴ 一方、エミリーの絵画とアンの絵画は、そもそもそれぞれ約30点ずつしか残っていないのであるが、その中に植物の絵は少ない。エミリーの絵で目立つのは、犬や鳥といった動物の絵であり、アンの絵には人物画や風景画が多い。

『シャーリー』(Shirley, 1849) では、プライア夫人 (Mrs. Pryor) がイギリスの「自然誌」(natural history) に通じている様子で、道の周りに咲いている野花の名をすべて知っていて、小さな草木の名前や性質までキャロライン (Caroline) に教えてくれる (373; vol. 2, ch. 10)。また、キャロラインは動物、鳥、昆虫、草木に対して同じような興味を持っていたので、ウィリアム・ファレン (William Farren) と共通の話題があり、二人は「自然誌」に関するいろいろの事項について細かく観察するという似た性向の持ち主同士ということになっている (445; vol. 3, ch. 2)。自身の小説のこれらの登場人物と同様に、シャーロットは植物に強い関心があり、本でもよく勉強をしていたのであろう。シャーロットの小説に登場する植物の多様性が、それを示している。

バーバラ・T・ゲイツ (Barbara T Gates) は、自然誌が流行した19世紀のイギリスにおいて、花言葉が女性の趣味のひとつになっていたとし、登場人物が花で言葉を伝えようとする手法がアン・ブロンテの小説の特徴のひとつであると述べ、『アグネス・グレイ』でウェストン氏が、アグネスにサクラソウを摘んで渡す場面と、『ワイルドフェルホルの住人』において、女相続人となって優位な立場になったヘレンが、それでもギルバートとの結婚を望み、クリスマス・ローズをギルバートに贈る場面をその例として挙げている。⁵ 女性から愛を告白することが珍しかった時代に、ヘレンは花に頼り、その花言葉を通して、品位を保ちながら自分の思いを愛する男性に伝えようとするが、ギルバートはその意味に気づかず、失望したヘレンは、その花をギルバートから取り上げるのである。

4. 花言葉

ブロンテ姉妹が小説を書いたのは、19世紀の中頃であるが、19世紀の初めまでには、「花言葉」(the language of flowers)という言葉が、ヨーロッパで一般的に認識されるようになり、その頃から、その象徴的な意味を書き添えた花のリストの本が出版されはじめていた。最初に出版された花言葉の本のひとつは、B・ドゥラシェネイ (B. Delachénye) の『植物入門書あるいは花言葉』(*Abécédaire de Flore ou langage des fleurs*, 1810)である。その後、シャルロット・ド・ラトゥール (Charlotte de Latour) の『花言葉』(*Le Language des fleurs*) が1819年の12月に出版されると、大変な人気となり、それを機に、花言葉の本がフランス、イギリス、アメリカで次々に出版された。

イギリスで出版された最初の花言葉の本はヘンリー・フィリップス (Henry Phillips) の『花の表象』(*Floral Emblems*, 1825)であった。フレデリック・ショーベルの『花言葉——実証となる詩付き』(*The Language of Flowers: With Illustrative Poetry*, 1834)、ロバート・タイアス (Robert Tyas) の『花の感情、あるいは花言葉』(*The Sentiment of Flowers; or, Language of Flora*, 1836)、トマス・ミラー (Thomas Miller) の『詩的な花の言葉、あるいは愛の巡礼の旅』(*The Poetical Language of Flowers; or, The Pilgrimage of Love*, 1847)、ヘンリー・アダムズ (Henry Adams) の『花言葉と花の詩』(*The Language and Poetry of Flowers*, 1844)についても、その内容はド・ラトゥールの著作を翻訳したか、それに新たな内容を加えたものであった。1884年に出版され、イギリスの絵本作家ケイト・グリーンナウェイ (Kate Greenaway) が挿絵を描いた『花言葉』(*The Language of Flowers*) は、数か国語に翻訳され、今日まで増刷が続いている。⁶

OEDには、1834年に出版されたド・ラトゥールの『花言葉』の翻訳書の一節が、“language of flowers”という英語のフレーズの初例として挙げられている。その次に引用されているのは、『虚栄の市』(*Vanity Fair*, 1847-53)の一節である。⁷ シャーロットにとって、文学者の中で最大のヒーローの一人であったウィリアム・メイクピース・サッカレー (William Makepeace Thackeray, 1811-63) の代表的な作品であるこの小説では、ジョウゼフ・セドレー (Joseph Sedley) が花束を持って現れ、アーミリア・セドレー (Amelia Sedley) とベッキー・シャープ (Becky Sharp) に贈るとき、「ボグリー・ウォラ (Boggley Wollah) では花言葉を使うのか」と言って、ジョージ・オズボーン (George Osborne) がジョウゼフのことをからかうのである。⁸

ブロンテ姉妹の小説では、彼女たちが特定の本を参考にしたかどうかはわからないが、詩やその他の文学作品を含む様々な本から彼女たちが得たそれぞれの植物のイメージに基づき、それに象徴的な意味を持たせて植物を描いているように思われる花や木が存在す

る。『ジェイン・エア』のロチェスターがジェインに結婚を申し込む場面で、最後は雷が落ちて半分に裂けてしまう「柵の木」(horse-chestnut) (260-69; vol. 2, ch. 8)⁹、『ヴィレット』(*Villette*)で、ルーシーがその穴に、ジョン・グレアム・ブレトン (John Graham Bretton) からもらった手紙を埋葬する「梨の木」(pear-tree) (368-69; ch. 26)、ポール・エマニュエル (Paul Emanuel) がルーシーの足元に投げる「シロスミレ」(white violet) (146; ch. 13, 458, ch. 31)、上述の『嵐が丘』の「モミの木」や、『ワイルドフェルホールの住人』(*The Tenant of Wildfell Hall*, 1848)の最終章で、ヘレン・ハンティンドン (Helen Huntingdon) がギルバート・マーカム (Gilbert Markham) にもらってくれるかと尋ねるクリスマス・ローズ (Christmas Rose) (465; ch. 53)などは特に印象深い。

おわりに

以上は、ブロンテ姉妹と植物に関する研究の経過である。植物が使われている文脈もよく考慮した上での姉妹の小説に登場する植物の分析は、今後の研究で行う。作品中で言及される回数が多いからといって、必ずしもその植物が作品中で重要な意味を持つとは限らないし、土に生えた植物として描かれているもの、花束など、人に手渡す形で登場するもの、比喩として、あるいは人名や地名、建物名、色の名前として登場するものなど、登場の仕方はさまざまであり、それによってもそれぞれの植物が持つ意味は変わってくる。作品中の文脈も十分考慮した上でのブロンテ姉妹の小説における植物の役割については、別途詳細に検討をし、特に小説中で重要な意味をもった植物は何であるか、それがどのような象徴的な意味を持っているのかを分析したい。その際に、19世紀に出版された代表的な花言葉の本でそれぞれの花が持っている意味として紹介されているものとの関連性についても考えたい。シャーロット、エミリ、アンが小説で使っている植物の傾向は少しずつ違っており、その比較も行うことで、姉妹のそれぞれの小説の特徴を明らかにしたいと思う。

注

1. 姉妹の小説に登場する植物の一覧表は、以下をもとにして作成した。Charlotte Brontë, *Jane Eyre*, ed. Margaret Smith (Oxford: World's Classics-Oxford University Press, 1993); Charlotte Brontë, *Shirley*, eds. Herbert Rosengarten and Margaret Smith (Oxford: World's Classics-Oxford University Press, 1981); Charlotte Brontë, *Villette*, eds. Margaret Smith and Herbert Rosengarten (Oxford: World's Classics-Oxford University

Press, 1990); Charlotte Brontë, *The Professor*, eds. Margaret Smith and Herbert Rosengarten (Oxford: World's Classics-Oxford University Press, 1991); Emily Brontë, *Wuthering Heights*, ed. Ian Jack (Oxford: World's Classics-Oxford University Press, 2009); Anne Brontë, *Agnes Grey*, eds. Robert Inglesfield and Hilda Marsden (Oxford: World's Classics-Oxford University Press, 1991); Anne Brontë, *The Tenant of Wildfell Hall*, ed. Herbert Rosengarten (Oxford: World's Classics-Oxford University Press, 1993). なお、本稿中のブロンテ姉妹の小説からの引用も上記の版を用い、括弧内にページ数を記す。

2. Beverly Seaton, *The Language of Flowers: A History* (Charlottesville and London: University Press of Virginia, 1995), pp. 176-77.

3. [John Stores Smith], 'Personal Reminiscences: A Day with Charlotte Brontë' (1850), *The Free Lance: A Journal of Humor and Criticism* (Manchester) 3 (14 March 1868): 85-87; qtd. in Harold Orel, ed. *The Brontës: Interviews and Recollections* (Houndmills, Basingstoke, Hampshire and London: Macmillan Press, 1997), p. 163.

4. Christine Alexander and Jane Sellars, *The Art of the Brontës* (Cambridge: Cambridge University Press, 1995), pp. 154-281, 370-93, 396-421.

5. Barbara T. Gates, "Natural History," *The Brontës in Context* (Cambridge: Cambridge University Press, 2012), pp. 258-59.

6. Beverly Seaton, pp. 67-84.

7. "language," *Oxford English Dictionary*, 2nd ed., CD-ROM version 4.0.

8. William Makepeace Thackeray, *Vanity Fair*, ed. J. I. M. Stewart (Harmondsworth: Penguin Classics-Penguin, 1985), p. 75.

9. 'horse-chestnut'ではなく、単に'chestnut'と表記されている箇所もあり、この小説中では'horse-chestnut'と'chestnut'が同一視されている。

【資料】

巻・章	植物名	和名	備考
<i>Jane Eyre</i>			
1.1	reed	アシ (葦)	【固有名詞】 Reed
1.2	fern	シダ (羊歯)	【形容詞形】 ferny
	moor	ムア	
1.3	foxglove	ジキタリス、キツネノテブクロ	

	bell	釣鐘草	
	mushroom	きのこ	
	ground-ivy	カキドオシ (垣通し)	
	moor	ムア	
1.4	cherry-tree	サクラ (桜)	
	heath	ヒース	
	fir	モミ (樅)	fir-cone
1.8	rose	バラ (薔薇)	
	ivy	ツタ (蔦)	
1.9	snowdrop	マツユキソウ (待雪草)	
	crocus	クロッカス	
	auricula	アツバサクラソウ	
	pansy	パンジー (三色堇)	
	elm	ニレ (榆)	
	ash	トリネコ	
	oak	オーク	
	moss	コケ (苔)	
	primrose	サクラソウ (桜草)	
	hollyhock	タチアオイ (立葵)	
	lily	ユリ (百合)	
	tulip	チューリップ	
	rose	バラ (薔薇)	
	thrift	アルメリア、ハマカンザシ	
	double-daisy	ヤエザキスミレ (八重咲堇)	
	sweet-briar	スイートブライア	
1.10	heath	ヒース	
	thorn	イバラ	【固有名詞】 Thornfield
1.11	rose	バラ (薔薇)	【形容詞形・色名】 rosy
	thorn tree	イバラ	
	oak	オーク	
	hazel	ハシバミ (榛)	【色名】
	moss	コケ (苔)	

1.12	wild rose	ノバラ (野薔薇)	
	blackberry	ブラックベリー、クロイチゴ	
	hip	ノバラの実	
	haw	サンザシの実	
	holly	セイヨウヒイラギ (西洋柊)、 モチノキ	
	hawthorn	サンザシ (山査子)	
	hazel	ハシバミ (榛)	
	oak	オーク	
	hazel	ハシバミ (榛)	
	heath	ヒース	
	willow	ヤナギ (柳)	
1.14	moor	ムア	
	rose	バラ (薔薇)	【色名】 rose-coloured
1.15	beech	ブナ (樺)	
	thorn-tree	イバラ	
	beech	ブナ (樺)	beech-trunk
	heath	ヒース	
2.1	olive	オリーブ	【色名】
	rose	バラ (薔薇)	
2.2	rose	バラ (薔薇)	
	lily	ユリ (百合)	
	poplar	ポプラ	poplars
	olive	オリーブ	【色名】
	lily	ユリ (百合)	lily-flower
2.5	oak	オーク	
	rose	バラ (薔薇)	【形容詞形・色名】 rosy
	apple tree	リンゴ (林檎)	
	pear tree	ナシ (梨)	
	cherry tree	サクラ (桜)	
	stock	アラセイトウ	

	sweet-william	アメリカナデシコ、 ビジョ（美女）ナデシコ	
	primrose	サクラソウ（桜草）	
	pansy	パンジー（三色堇）	
	southernwood	キダチヨモギ	
	sweet-briar	スイートブライア	
	rose	バラ（薔薇）	
	ivy	ツタ（蔦）	
2.6	daisy	ヒナギク（雛菊）	
	reed	アシ（葦）	
	water-flag	キショウブ（黄菖蒲）	
	lotus-flower	ハス（蓮）	
	hawthorn	サンザシ（山査子）	hawthorn-bloom
2.7	rose	バラ（薔薇）	
	briar	ノバラ（野薔薇）	
2.8	wild strawberry	ノイチゴ（野苺）	
	beech	ブナ（樺）	
	laurel	ゲッケイジュ（月桂樹）	
	horse-chestnut	セイヨウトチ（西洋栃）の木、 マロニエ	
	sweet-briar	スイートブライア	
	southern-wood	キダチヨモギ	
	jasmine	ジャスミン	
	pink	ナデシコ、セキチク	
	rose	バラ（薔薇）	
	ivy	ツタ（蔦）	
	gooseberry-tree	スグリ	
	laurel	ゲッケイジュ（月桂樹）	laurel-walk または laurel walk とも 表記
	horse-chestnut	セイヨウトチ（西洋栃）の木、 マロニエ	chestnut または chestnut tree とも 表記
2.9	rose	バラ（薔薇）	【形容詞形・色名】rosy

	hazel	ハシバミ (榛)	【色名】
	hazel	ハシバミ (榛)	【色名】
	rose	バラ (薔薇)	
	lilac	ライラック	【色名】
2.10	laurel	月桂樹	laurel-walk
	horse-chestnut	セイヨウトチ (西洋栃) の木、マロニエ	テキストでは chestnut tree と表記
	apple	リンゴ (林檎)	
	briar-rose	ヨーロッパノイバラ	
	rose	バラ (薔薇)	
	ivy	ツタ (蔦)	
2.11	lily	ユリ (百合)	
	moss	コケ (苔)	【形容詞形】 mossy
	moor	ムア	【固有名詞】 Marston Moor
	fern	シダ (羊歯)	【固有名詞】 Ferndean Manor
	olive	オリーブ	【色名】
	rose	バラ (薔薇)	
	pine	マツ (松)	pine-forest
3.1	upas-tree	ウパスノキ	
	orange-tree	オレンジ	
	pomegranate	ザクロ (柘榴)	
	pineapple	パイナップル	
	willow	ヤナギ (柳)	
	rose	バラ (薔薇)	【形容詞形・色名】 rosy
	reed	アシ (葦)	
3.2	moorland	ムア	
	moor	ムア	
	heather	ヘザー	
	heath	ヒース	
	moor	ムア	moor-side
	moss	コケ (苔)	moss-blackened
	bilberry	コケモモ	

	moss	コケ (苔)	【形容詞形】 mossy
	olive	オリーブ	【固有名詞】 Oliver
	moor	ムア	moor-edge
	fir	モミ (樅)	
	holly	セイヨウヒイラギ (西洋柊)、 モチノキ	
	yew	イチイ	
	ivy	ツタ (蔦)	
	rose	バラ (薔薇)	【形容詞形・色名】 rosy
3.3	moor	ムア	【固有名詞】 Moor House
	moor	ムア	
	moorland	ムア	
3.4	fir	モミ (樅)	
	yew	イチイ	
	holly	セイヨウヒイラギ (西洋柊)、 モチノキ	
	moor	ムア	
	fern	シダ (羊歯)	fern-bank
	heath	ヒース	
	moorland	ムア	
	moss	コケ (苔)	【形容詞形】 mossy-faced
	moss	コケ (苔)	
	heathbell	ベルヘザー、ハイイロエリカ	
	fir	モミ (樅)	
	moor	ムア	【形容詞形】 moorish
	yew-tree	イチイ	
	holly	セイヨウヒイラギ (西洋柊)、 モチノキ	holly-bush
3.5	rose	バラ (薔薇)	
	lily	ユリ (百合)	
	daisy	ヒナギク (雛菊)	
	rose	バラ (薔薇)	【色名】

	rose	バラ (薔薇)	【固有名詞】 Rosamond
3.6	moor	ムア	
	chestnut	クリ (栗)	【色名】
	rose	バラ (薔薇)	the Rose of the World
3.8	moor	ムア	
	moss	コケ (苔)	
	heath	ヒース	
	rush	イグサ (藺草)、 トウシンソウ (灯心草)	
	moss	コケ (苔)	【形容詞形・色名】 mossy
	heath	ヒース	
3.9	reed	アシ (葦)	
	fir	モミ (樅)	
	moorland	ムア	
	yew	イチイ	
3.10	moor	ムア	
	moor	ムア	north-midland moors of Morton
	moss	コケ (苔)	【形容詞形】 mossy
3.11	horse-chestnut	セイヨウトチ (西洋栃) の木、	テキストでは chestnut tree と表記
		マロニエ	
	woodbine	スイカズラ、 ニオイニンドウ (匂忍冬)	
Shirley			
1.1	briar	ノバラ (野薔薇)	【固有名詞】 Briarfield
	moor	ムア	【固有名詞】 Moore
	moor	ムア	
	poppy	ケシ (芥子)	
	May-blossom	サンザシ、ドイツスズラン	
1.2	moor	ムア	【固有名詞】 Stibro' Moor
	moor	ムア	
1.3	moor	ムア	
1.5	snowdrop	マツユキソウ (待雪草)	

	crocus	クロッカス	
	snowdrop	マツユキソウ (待雪草)	
	crocus	クロッカス	
	primrose	サクラソウ (桜草)	
1.7	willow	ヤナギ (柳)	
1.8	daisy	ヒナギク (雛菊)	
	nettle	イラクサ	
	moor	ムア	
1.9	briar	ノバラ (野薔薇)	【固有名詞】 Briarmains
	moss	コケ (苔)	【形容詞形】 mossy
	walnut-tree	くるみ	
	briar	ノバラ (野薔薇)	【固有名詞】 Briar-chapel
	rose	バラ (薔薇)	【固有名詞】 Rose
	cypress	イトスギ (糸杉)	
	willow	ヤナギ (柳)	
	yew	イチイ	
	olive	オリーブ	olive-branch
1.10	olive	オリーブ	【色名】
	rose	バラ (薔薇)	【形容詞形・色名】 rosier
	briar	ノバラ (野薔薇)	
	thorn	イバラ	
	primrose	サクラソウ (桜草)	
	lily	ユリ (百合)	
	moss	コケ (苔)	wood-moss
1.11	thorn	イバラ	
	moss	コケ (苔)	【形容詞形・色名】 mossy
	cedar	ヒマラヤスギ (杉)	
	moss	コケ (苔)	【形容詞形】 mossy
	oak	オーク	
	snowdrop	マツユキソウ (待雪草)	
	apple	リンゴ (林檎)	
	rose	バラ (薔薇)	【形容詞形・色名】 rosy

	lily	ユリ (百合)	
2.1	cedar	ヒマラヤスギ (杉)	
	heath	ヒース	
	moor	ムア	
	daisy	ヒナギク (雛菊)	
	kingcup	キンボウゲ	
	heather	ヘザー	
	oak	オーク	
	moss	コケ (苔)	
	birch	カバ (樺)	
	beech	ブナ (樫)	
	ash tree	トリネコ	
	ivy	ツタ (蔦)	
	lily	ユリ (百合)	
2.2	rose	バラ (薔薇)	【形容詞形・色名】 rosy
	thorn	イバラ	
	cedar	ヒマラヤスギ (杉)	
	alder	ハンノキ	
	lily	ユリ (百合)	
	hawthorn	サンザシ (山査子)	
2.3	thorn	イバラ	
	cowslip	キバナノクリンザクラ (黄花九輪桜)	cowslip-lea
2.4	cedar	ヒマラヤスギ (杉)	
2.5	olive	オリーブ	the reign of the olive
	moss	コケ (苔)	【形容詞形】 mossy
	daisy	ヒナギク (雛菊)	
	lilac	ライラック	
	laburnum	キングサリ	
	cabbage-rose	セイヨウバラ	
2.6	rose	バラ (薔薇)	【形容詞形・色名】 rosy
	hawthorn	サンザシ (山査子)	

	daisy	ヒナギク (雛菊)	
2.7	rose	バラ (薔薇)	【形容詞形・色名】 rosy
	moor	ムア	
	rose-tree	バラ (薔薇)	
	nasturtium	キンレンカ (金蓮花)	
	heath	ヒース	
2.8	laburnum	キングサリ	
	lilac	ライラック	
2.10	rose	バラ (薔薇)	【形容詞形・色名】 rosy
	oak	オーク	
	wild-rose	ノバラ (野薔薇)	
	blue-bell	ブルーベル	
	moss	コケ (苔)	【形容詞形】 mossy
	rose	バラ (薔薇)	【形容詞形・色名】 rosier
2.11	moor	ムア	
	olive	オリーブ	
	laurel	ゲッケイジュ (月桂樹)	
	rush	イグサ (藺草)、 トウシンソウ (灯心草)	【固有名詞】 Rushhedge
	mignonette	モクセイソウ (木犀草)	
	sweet-briar	スイートブライア	
	currant	スグリ	
	rose	バラ (薔薇)	
2.12	moss-rose	コケバラ (苔薔薇)	
	lily	ユリ (百合)	
	nettle	イラクサ	
	holly-oak	トキワガシ	
	privet	イボタノキ	
	laurel	ゲッケイジュ (月桂樹)	
3.1	rose	バラ (薔薇)	【形容詞形・色名】 rosier
	honeysuckle	スイカズラ	
	nettle	イラクサ	

	daisy	ヒナギク (雛菊)	daisy-head
	dock	ギジギジ、スイバ	dock-leaf
3.2	cherry-tree	サクラ (桜)	
3.3	rose	バラ (薔薇)	
	pine	マツ (松)	
3.4	heath	ヒース	heath-bloom
	apple	リンゴ (林檎)	
	oak	オーク	oak-woods
	oak	オーク	
	moss	コケ (苔)	【形容詞形】 mossed
	oak	オーク	oak-bough
	oak	オーク	【フランス語】 Le Chêne
	reed	アシ (葦)	【フランス語】 Le Roseau
	oak	オーク	English oak
	poppy	ケシ (芥子)	
3.5	Parmese violet	パルマスミレ (堇)	=Parma violet
3.6	oak	オーク	
	moss	コケ (苔)	【形容詞形】 mossy
	lily of the valley	スズラン (鈴蘭)	
	rose	バラ (薔薇)	
3.7	lily	ユリ (百合)	lily-fair
	olive	オリーブ	【色名】 olive-green
	moor	ムア	
	bilberry	コケモモ	【固有名詞】 Bilberry Moss
	moss	コケ (苔)	【固有名詞】 Bilberry Moss
	moor	ムア	
	heath	ヒース	
3.8	oak	オーク	
	beech	ブナ (樺)	
	rose	バラ (薔薇)	【形容詞形・色名】 rosy
3.9	violet	スミレ (堇)	【色名】
	lilac	ライラック	【色名】 lilac-blue

	moss	コケ (苔)	【形容詞形】 mossy
3.10	rose	バラ (薔薇)	【形容詞形・色名】 rosy
	oak	オーク	
	rose	バラ (薔薇)	【形容詞形・色名】 rosy
3.12	hazel	ハシバミ (榛)	【色名】
	rose	バラ (薔薇)	Rose céleste
3.13	violet	スミレ (堇)	【色名】 violet
3.14	reed	アシ (葦)	
	rose-tree	バラ (薔薇)	
	thorn	イバラ	
	moor	ムア	
	oak tree	オーク	
	nut tree	堅果のなる木、特にハシバミ	

Villette

1	lily	ユリ (百合)	
3	palm-tree	ヤシの木、シュロの木	
7	willow	ヤナギ (柳)	
8	rose	バラ (薔薇)	rose-bush
	vine	ツル (蔓) 植物、 ブドウ (葡萄) の木	vine-draped
9	lilac	ライラック	【色名】
10	rose	バラ (薔薇)	【形容詞形・色名】 rosy
12	pear-tree	ナシ (梨)	
	moss	コケ (苔)	【形容詞形】 mossy
	nasturtium	キンレンカ (金蓮花)	
	acacia	アカシア	
	vine	ツル (蔓) 植物、 ブドウ (葡萄) の木	
	jasmine	ジャスミン	
	ivy	ツタ (蔦)	
	thorn	イバラ	
	violet	スミレ (堇)	

13	white violet	シロスミレ (白堇)	
	rose	バラ (薔薇)	【形容詞形・色名】 rosy
14	moor	ムア	
	rose	バラ (薔薇)	【色名】 rosy
	acacia	アカシア	acacia-bough
	rose	バラ (薔薇)	rose-rush
	orange-tree	オレンジ	
	rose	バラ (薔薇)	【色名】
15	violet	スミレ (堇)	【色名】 violet-azure
	palm-tree	シュロの木	
16	beech	ブナ (樺)	
	hazel	ハシバミ (榛)	【色名】
17	rose	バラ (薔薇)	【形容詞形・色名】 rosy
19	rose	バラ (薔薇)	
	moss	コケ (苔)	【形容詞形】 mossy
20	lily	ユリ (百合)	
	rose	バラ (薔薇)	【色名】
	lime	ボダイジュ (菩提樹)	
23	oak-tree	オーク	
	rose	バラ (薔薇)	【色名】
24	chestnut	クリ (栗)	【色名】
	rose	バラ (薔薇)	
	white violet	シロスミレ (白堇)	
	camelia	ツバキ (椿)	
	dahlia	ダリア	
	olive	オリーブ	【色名】
25	rose	バラ (薔薇)	【形容詞形・色名】 rosy
26	pear-tree	ナシ (梨)	
	ivy	ツタ (蔦)	
	laurel	ゲッケイジュ (月桂樹)	
	yew	イチイ	
27	rose	バラ (薔薇)	rose-like

28	rose	バラ (薔薇)	【色名】 rose-colour
29	violet	スミレ (堇)	
	rose	バラ (薔薇)	rosebud
	olive	オリーブ	【色名】
	violet	スミレ (堇)	
30	thorn	イバラ	
	briar	ノバラ (野薔薇)	
31	ivy	ツタ (蔦)	wall-ivy
	pear-tree	ナシ (梨)	Methusaleh—the giant and patriarch of the garden というニックネームで言及
	sweetbriar	スイートブライア	
	white violet	シロスミレ (白堇)	
32	linden	ボダイジュ (菩提樹)	linden-bordered
	moss	コケ (苔)	
33	lime-tree	ボダイジュ (菩提樹)	
	orange-tree	オレンジ	
34	rose	バラ (薔薇)	【形容詞形・色名】 rosy
	gentianella flower	チャボリンドウ	
35	rose	バラ (薔薇)	【形容詞形・色名】 rosy
36	orange-tree	オレンジ	
	geranium	ゼラニウム	
	cactus	サボテン	
	camelia	ツバキ (椿)	
	rose	バラ (薔薇)	rose-bush
	lilac	ライラック	【色名】
	rose	バラ (薔薇)	【色名】 rose-tinged
	guelder-rose	テマリカンボク	
	apple	リンゴ (林檎)	
37	lily	ユリ (百合)	【色名】
	rose	バラ (薔薇)	【形容詞形・色名】 rosy
38	violet	スミレ (堇)	【色名】

	olive	オリーブ	olive-leaf
	rush	イグサ (蘭草)、 トウシンソウ (灯心草)	【形容詞形】 rushy
	linden	ボダイジュ (菩提樹)	
	lily	ユリ (百合)	
	lilac	ライラック	【色名】
40	rose	バラ (薔薇)	
	rose	バラ (薔薇)	【形容詞形・色名】 rosier
	orange flower	オレンジ	
41	lime -tree	ボダイジュ (菩提樹)	
	violet	スミレ (堇)	【色名】
	vine	ツル (蔓) 植物、 ブドウ (葡萄) の木	
	violet	スミレ (堇)	
	vine	ツル (蔓) 植物、 ブドウ (葡萄) の木	
	poplar	ポプラ	
	laurel	ゲッケイジュ (月桂樹)	
	cypress	イトスギ (糸杉)	
	rose	バラ (薔薇)	

The Professor

1	rose	バラ (薔薇)	
	lily	ユリ (百合)	
5	oak-tree	オーク	
7	briar	ノバラ (野薔薇)	
	thorn	イバラ	
	willow	ヤナギ (柳)	
8	rose	バラ (薔薇)	
	violet	スミレ (堇)	【色名】 violet-coloured
9	ivy	ツタ (蔦)	
	vine	ツル (蔓) 植物、 ブドウ (葡萄) の木	

	rose-tree	バラ (薔薇)	
	lilac	ライラック	
	laburnam	キングサリ	
	acacia	アカシア	
10	olive	オリーブ	【色名】
12	lilac	ライラック	
	laburnuam	キングサリ	
14	rose	バラ (薔薇)	【色名】
17	rose	バラ (薔薇)	【固有名詞】 Rosalie
18	hazel	ハシバミ (榛)	【色名】
	pear-tree	ナシ (梨)	
	rose	バラ (薔薇)	rose-bush
	laburnam	キングサリ	
	lilac	ライラック	lilac-bush
19	yew	イチイ	yew-tree とも表記
	cypress	イトスギ (糸杉)	
	rose	バラ (薔薇)	
	willow	ヤナギ (柳)	
	hazel	ハシバミ (榛)	【色名】
20	moss	コケ (苔)	【形容詞形】 mossy
21	rose	バラ (薔薇)	
23	lily	ユリ (百合)	
	rose	バラ (薔薇)	【形容詞形・色名】 rosy
24	rose	バラ (薔薇)	
25	reed	アシ (葦)	
	lilac	ライラック	【色名】
	lilac	ライラック	【色名】
	moss	コケ (苔)	【形容詞形】 mossy
	hawthorn	サンザシ (山査子)	
	moorland	ムア	
	fern	シダ (羊歯)	【形容詞形】 ferny
	moss	コケ (苔)	

	blue-bell	ブルーベル	
	reed	アシ (葦)	
	heather	ヘザー	
	rose	バラ (薔薇)	
	ivy	ツタ (蔦)	
	moss	コケ (苔)	
	daisy	ヒナギク (雛菊)	
	daisy	ヒナギク (雛菊)	【固有名詞】 Daisy Lane
	oak	オーク	
	beech	ブナ (樺)	
	rose	バラ (薔薇)	
	alder	ハンノキ	
	oak	オーク	Hunsden-oak
	beech	ブナ (樺)	
	beech	ブナ (樺)	
	olive	オリーブ	olive-branch
	beech	ブナ (樺)	
	honeysuckle	スイカズラ	
<i>Wuthering Heights</i>			
1.1	heath	ヒース	【固有名詞】 Heathcliff
	fir	モミ (樅)	
	thorn	イバラ	
1.2	heath	ヒース	
	gooseberry	スグリ	
	moor	ムア	
1.3	moor	ムア	
	fir-tree	モミ (樅)	
	moor	ムア	
	moor	ムア	
1.6	moor	ムア	
1.7	holly	セイヨウヒイラギ (西洋柊)、 モチノキ	

	moor	ムア	
1.9	heath	ヒース	
	moor	ムア	
1.10	thorn	イバラ	
	honeysuckle	スイカズラ	
	moor	ムア	
	furze	ハリエニシダ	
1.11	moor	ムア	
1.12	moor	ムア	
	heath	ヒース	
	fir	モミ (樅)	
	heather	ヘザー	
1.13	crocus	クロッカス	
	moor	ムア	
	moor	ムア	
1.14	oak	オーク	
2.2	larch	カラマツ	
	ash tree	トリネコ	
	heath	ヒース	
	bilberry	コケモモ	
	moor	ムア	
2.3	primrose	サクラソウ (桜草)	
	crocus	クロッカス	
	moor	ムア	
	moor	ムア	
2.4	larch	カラマツ	
	heath	ヒース	
	moor	ムア	
	hazel	ハシバミ (榛)	
	moor	ムア	
2.5	moss	コケ (苔)	【形容詞形】 mossy
	birch	カバ (樺)	

2.6	heather	ヘザー	heather-scented air
	moor	ムア	
	gooseberry	スグリ	
	fir	モミ (縦)	
2.7	moor	ムア	
	heath	ヒース	
	moor	ムア	
2.8	hazel	ハシバミ (榛)	
	oak	オーク	
	blue-bell	ブルーベル	
	lilac	ライラック	【色名】
	moss	コケ (苔)	
	wild rose tree	野バラ	
	rose	バラ (薔薇)	rosebush
	blackberry	ブラックベリー、クロイチゴ	
2.9	moor	ムア	
	moor	ムア	
2.10	heath	ヒース	
	moor	ムア	
2.11	fir tree	モミ (縦)	
	moor	ムア	
2.12	heath	ヒース	
	bilberry	コケモモ	
2.13	heath	ヒース	
	reed	アシ (葦)	
	moor	ムア	
2.14	fir tree	モミ (縦)	
2.15	moor	ムア	
2.16	moor	ムア	
2.18	moor	ムア	
	heath	ヒース	
	stock	アラセイトウ	

	wall flower	ニオイアラセイトウ
	moor	ムア
2.19	currant	スグリ
	gooseberry	スグリ
	black currant tree	クロ（黒）スグリ
	primrose	サクラソウ（桜草）
	currant tree	スグリ
2.20	apple tree	リンゴ（林檎）
	fir tree	モミ（樅）
	primrose	サクラソウ（桜草）
	moor	ムア
	moor	ムア
	heath	ヒース
	moss	コケ（苔）
	hare-bell	ヘアベル、イトシジャン

Agnes Grey

1	heath	ヒース	heath-clad
	birch	カバ（樺）	
	moor	ムア	
2	poplar	ポプラ	poplar-grove
	dahlia	ダリア	
	rose tree	バラ（薔薇）	
	polyanthus	ポリアンサス、クリンザクラ	
7	thistle	アザミ	thistle-seed
	rose	バラ（薔薇）	【固有名詞】 Rosalie
	poplar	ポプラ	
	fir	モミ（樅）	
8	ivy	ツタ（蔦）	ivy-clad
10	lavender	ラベンダー	【色名】
11	moss	コケ（苔）	moss-lane
13	moorland	ムア	
	oak	オーク	

	primrose	サクラソウ (桜草)	章のタイトルにもなっている
	primrose	サクラソウ (桜草)	
	blue-bell	ブルーベル	
	heath	ヒース	heath-blossom
	violet	スマレ (堇)	
	primrose	サクラソウ (桜草)	
14	horse-chestnut	セイヨウトチ (西洋栃) の木、 マロニエ	
	myrtle	ギンバイカ (銀梅花)	
18	bluebell	ブルーベル	
24	moss	コケ (苔)	
	moss	コケ (苔)	【形容詞形】 mossy
<i>The Tenant of Wildfell Hall</i>			
1	rose	バラ (薔薇)	【固有名詞】 Rose
	chestnut	クリ (栗)	【色名】
	hazel	ハシバミ (榛)	【色名】
2	linden	ボダイジュ (菩提樹)	【固有名詞】 Linden-Car
	ivy	ツタ (蔦)	
	moss	コケ (苔)	
	larch	カラマツ	
	Scotch fir-tree	ヨーロッパアカマツ	
	black thorn	ブラックソーン、リンボク	
	bilberry plant	コケモモ	
	heather	ヘザー	
	ragweed	ノボロギク	
	rush	イグサ (藎草)、 トウシンソウ (灯心草)	
	heath	ヒース	heath-clad
	privet	イボタノキ	
	laurel	ゲッケイジュ (月桂樹)	
	cherry-tree	サクラ (桜)	
3	oak	オーク	

	oak	オーク	
5	linden	ボダイジュ (菩提樹)	【固有名詞】 Lindenhope
	holly	セイヨウヒイラギ (西洋柊)、 モチノキ	
	chestnut	クリ (栗)	【色名】
6	moor	ムア	
	hazel	ハシバミ (榛)	【色名】
7	primrose	サクラソウ (桜草)	
	snowdrop	マツユキソウ (待雪草)	
	primrose	サクラソウ (桜草)	
	crocus	クロッカス	
	violet	スミレ (堇)	【色名】 violet blue
	moss	コケ (苔)	【形容詞形】 mossy
9	hazel	ハシバミ (榛)	【色名】
	rose	バラ (薔薇)	
	honeysuckle	スイカズラ	
10	moss rose-tree	コケバラ	
12	moor	ムア	
	holly	セイヨウヒイラギ (西洋柊)、 モチノキ	
	thorn	イバラ	
	briar	ノバラ (野薔薇)	
15	bluebell	ブルーベル	
18	Scotch fir	ヨーロッパアカマツ	
	daisy	ヒナギク (雛菊)	daisy-spangled
	rose	バラ (薔薇)	【形容詞形・色名】 rosy
19	peony	シャクヤク、ボタン	
	wild rose	ノバラ (野薔薇)	wild rosebud
22	chestnut	クリ (栗)	【色名】
25	ash-tree	トリネコ	
	acacia tree	アカシア	
29	willow	ヤナギ (柳)	

	moss	コケ (苔)	moss-cushioned
	oak	オーク	
	bluebell	ブルーベル	
	wild rose	ノバラ (野薔薇)	
31	briar-rose	ヨーロッパノイバラ	
	may-blossom	サンザシ (山査子) の花	
	thorn	イバラ	
	lily	ユリ (百合)	
32	beech	ブナ (樺)	
33	elm-tree	ニレ (榆)	
37	ash tree	トリネコ	
	moss rose	コケバラ	
45	lily	ユリ (百合)	
51	rose	バラ (薔薇)	【固有名詞】 Rose and Crown
	rose	バラ (薔薇)	【色名】 rosier
52	ash	トリネコ	
	willow	ヤナギ (柳)	
53	Christmas rose	クリスマス・ローズ	